

Title	組織行動における循環的コミュニケーション - マネジメントの不思議の環 -
Sub Title	
Author	町田潔(Machida, Kiyoshi) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1991
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1991年度経営学 第880号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0880">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0880</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	町田 潔 (株式会社 内田洋行)	主査 高木 晴夫 副査 奥村 昭博 青井 倫一
所属	高木 晴夫 研究室	

## 組織行動における循環的コミュニケーション —マネジメントの不思議の環—

組織行動の不可欠の要素として、コミュニケーションをあげることができる。経営管理者にとって組織の行動がどの様に推移して行くかを知ろうとすることは、極めて自然な問いかけである。

複雑な因果関係を含んで、組織は動いている。この組織行動のメカニズムの解明をテーマとし、コミュニケーションの側面より研究を試みた。

組織行動のメカニズムに対し、システム的アプローチによって組織の問題解決を図っている臨床分野として家族療法がある。本論文はこの分野の基礎的理論を背景としている。

実験的環境下におけるグループ討議と、実際の経営現場における会議のコミュニケーション観察の対象とし、コミュニケーションにおける行動とコンテキストを分析した。この分析から、コミュニケーションにおける構造を明らかにし、組織行動における問題を描き出した。